

さあ、 **NISA**を はじめよう!

将来資金の
準備に最適!

少額で
コツコツと!



売却益や
配当金が
非課税!



2024年から**新NISA**がスタート!

1 考えてみませんか？ 将来のお金とNISAのこと！

まとまったお金が必要になる

教育資金・老後資金づくりに、NISAが向いています！



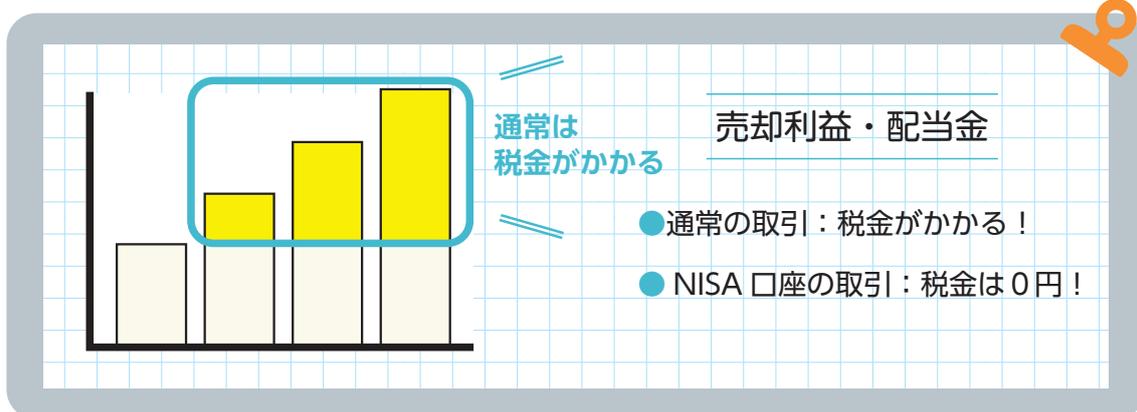
NISA (ニーサ) って、なに？

株式・投資信託などへの投資の制度で、「少額投資非課税制度」とも呼ばれます。



なぜ、NISAが注目されているの？

- ① 少額から投資をスタートできて、長期的な資産形成に向いています。
- ② NISA口座で株式や投資信託を売却して得た利益や受け取った配当金などには、税金がかからないからです。



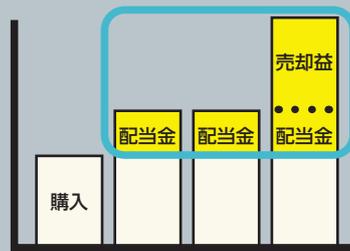
2 NISAのメリットに注目！

メリット

1 売却益や配当金が非課税！

通常、受け取った配当金や、値上がりした株式を売却した場合には税金がかかり手取りが少なくなります。NISAを利用すれば税金がかかりません。

例) 売却益・配当金：合計10万円



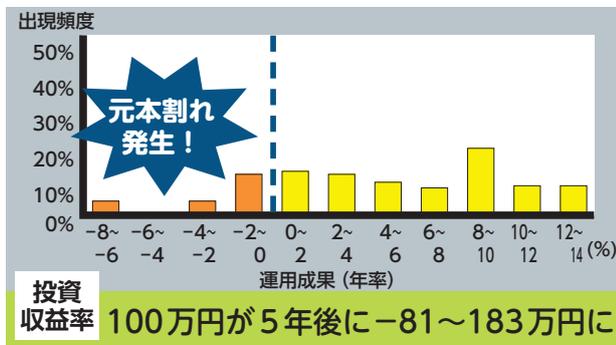
- 通常の取引：2万315円*の税金
⇒ 手許に7万9,685円しか残らない
* 10万円×20.315%
(株式等の売却益・配当金の税率)
- NISA口座の取引：税金は0円！

メリット

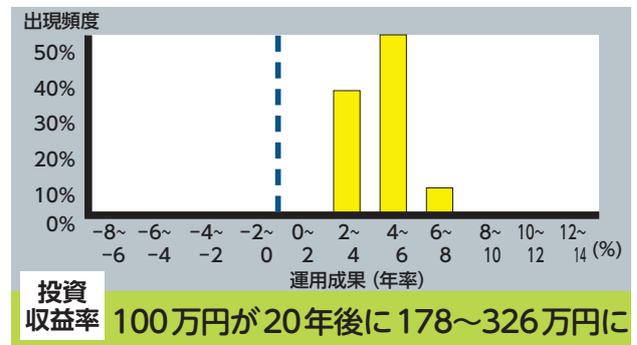
2 少額からコツコツ投資が可能！

コツコツ長期投資（途中で売ったり積立投資をやめないこと）をすることで、運用成果を残せることが統計的に示されています。

◆保有期間5年



◆保有期間20年



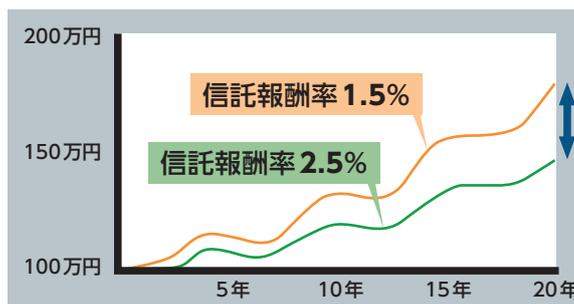
(出典) 金融庁ホームページ

メリット

3 コストが低い！

つみたてNISAで購入できる投資信託は、信託報酬（期間中にかかるコスト）が低く、信託期間（運用する期間）が長く、販売手数料（購入時にかかるコスト）が0円の銘柄に限定されています。

◆信託報酬1.5%と2.5%の場合の収益の差



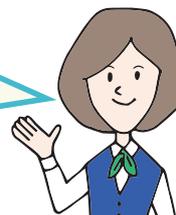
(出典) 金融庁ホームページ

メリット

4 将来資金の準備に最適！

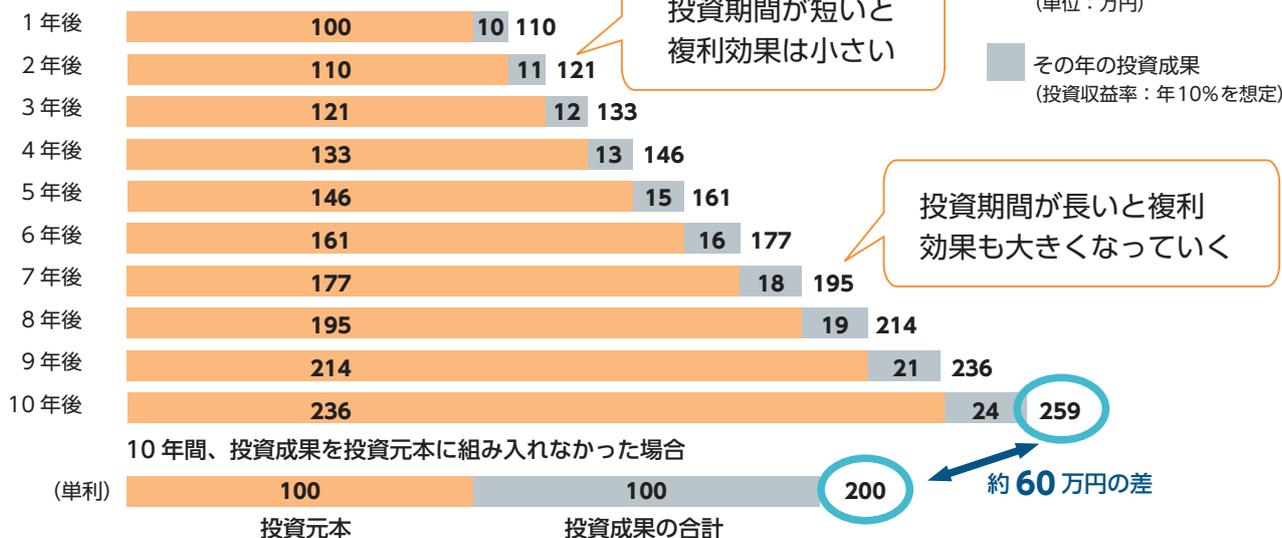
- 将来資金として大きな割合を占める「教育」「住宅」「老後」の資金ですが、こうした資金を一度に準備するのは困難なため、長期的な準備が必要です。
- 教育資金の準備に「学資保険」がありますが、低金利により運用メリットはわずかです。17歳まで利用できる「ジュニアNISA」に投資をして大学入学まで複利効果を得ましょう！
*「ジュニアNISA」は、2023年末に制度が終了します（※5ページ）。
- 老後資金のうち、公的な保障（公的年金など）や職場の保障（退職金や企業年金など）は、今後、大きく増えることは期待できないため、自助努力（預金、個人年金、投資など）が重要に。
- 「投資」では複利効果が得られる「長期投資」の視点が重要です。

少額からコツコツと利用できるNISAは、
将来の資金準備に向いています！



◆投資期間と複利効果の関係

例：投資リターン（投資収益率）を年10%と想定した場合



(出典) 金融庁ホームページ

メリット

5 株主優待が得られる！

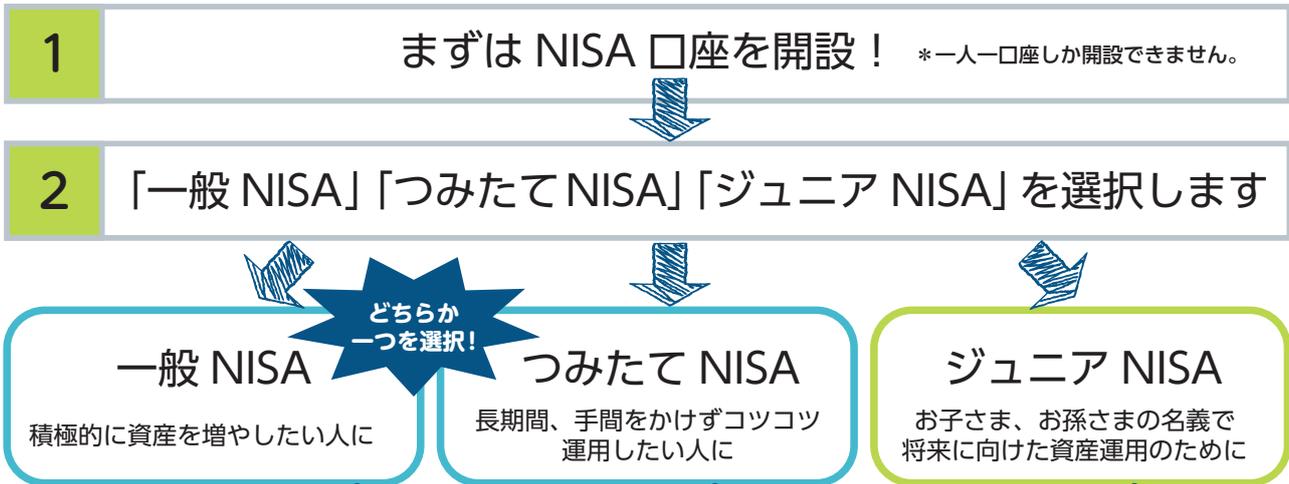
上場企業の中には株主への特典として株主優待を設けている企業があります。そうした企業の株式（株主優待銘柄）に投資することで、株主優待を受けられます。

- 例
- 自社商品や自社店舗で使える商品券・割引券
 - 地域の特産品
 - QUOカードなどの金券



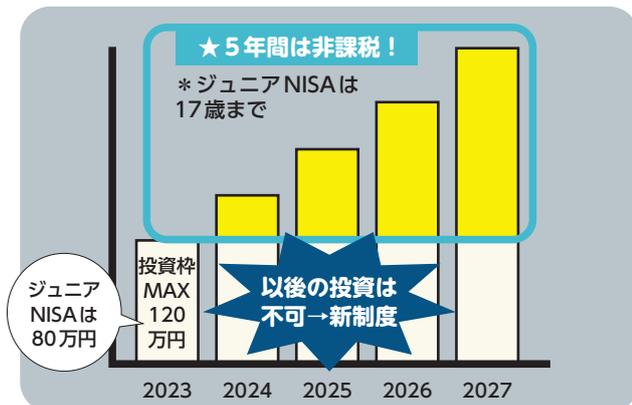
3 NISAをはじめよう!

NISAのはじめかた



	一般 NISA	つみたて NISA	ジュニア NISA
年間投資枠 (2023 年が最終年)	120 万円	40 万円	80 万円
非課税となる保有期間	5 年間	20 年間	5 年間
投資対象商品	投資信託、上場株式 など	金融庁が定めた 投資信託など	投資信託、上場株式 など
買付方法	スポット・積立て	積立て	スポット・積立て
対象年齢	18 歳以上		17 歳以下

一般 NISA・ジュニア NISA の投資イメージ



つみたて NISA の投資イメージ

